

「M:I-2」のジョン・ウー監督作品
ニコラス・ケイジ
ウインドトーカーズ



WINDTALKERS

メトロ・ゴールドウィン・メイヤー・ピクチャーズ 監製 ライオン・ロックフェラー・プロダクション ジョン・ウー 脚本 ニコラス・ケイジ 「ウインドトーカーズ」 アダム・ビーチ ピーター・ストームアー ノア・エメリッヒ
 マーク・ラファロ ブライアン・ヴァン・ホルト フランシス・オコナー クリスチャン・スレーター 監製 ジェームズ・ホーナー 音楽 キャロライン・マコーレイ アーサー・アンダーソン
 常務 マイク・アリアー 編集 スティーブ・ケムパー プロダクション デザイン ホルガー・グロス 監製 ジェフリー・キンボール, A.S.C. ライン・プロデューサー ジョン・J・スミス リチャード・ステンタ
 製作総指揮 C・O・エリックソン 監督 ジョン・ウー テレンス・チャン トレーシー・グラハム アリソン・ローゼンワグ 脚本 ジョー・ライス ジョー・パッター



©2001 METRO-GOLDWYN-MAYER PICTURES, INC.

サントラックス BMGファンハウス

監督 ジョン・ウー

SDDS Digital Surround Sound



dts

RELEASED BY TWENTIETH CENTURY FOX





「M:I-2」のジョン・ウーが新たに世界に放つ！ 激しい戦火の中で出会った男と男の熱い絆のドラマ



ウインドトークーズ、自らが“暗号”のナバホ族の兵士たち

第二次世界大戦中、“ウインドトークーズ”と呼ばれるナバホ族の兵士たちがいた。

ナバホ族、それは誇り高きアメリカ先住民族。白人に虐げられ、悲劇の歴史をつづってきた彼らは、それでもなお、独自の文化を守ってきた。その文化の特徴のひとつが文字を持たないこと。それは、通信兵としてまさに最適だった。なぜなら、アメリカ軍の暗号をこごとく解読してしまう日本軍であっても、ナバホ族の通信兵同士の会話は傍受できても、理解することは不可能だったからだ。ナバホ族の言葉自体が、暗号となったのである。

“生きて” 敵に渡してはならない それが男の使命だった

1944年5月15日、アメリカ軍は西太平洋の要であるマリアナ諸島のサイパン島に上陸を開始する。この2ヵ月にも及ぶ激しい戦闘の極限状況下で、ひとりの海兵隊兵士とナバホ族の通信兵は出会った。各隊に配属されたナバホ族の通信兵には、戦場での安全を確保するため、各人に一人ずつ海兵隊精鋭の護衛がつけられたのだ。護衛の任務はただひとつ。暗号の秘密を守ること。それには、ナバホ族の兵士が“生きて”日本軍の手に渡るのを、いかなる犠牲を払ってでも阻止しなければならない極秘指令も含まれていた……。



アクション映画の詩人ジョン・ウーが描く 史上最も独創的な戦闘シーン

激戦地で芽生えた友情と軍への忠誠心との狭間で葛藤する男と男。この男たちの絆のドラマを謳いあげる監督は、「男たちの挽歌」以来、このテーマを追求してきた香港出身のジョン・ウー。「M:I-2」で世界中でメガヒットを飛ばした彼が、史上最も激しく独創的な戦闘シーンと魂に響く人間ドラマを描き切る。

そして、「フェイス/オフ」でジョン・ウー監督とコンビを組んだニコラス・ケイジが、前の部隊でただひとり生き残り、左耳の障害ばかりか心に深い傷を負った海兵隊伍長ジョー・エンダースを演じる。また、妻と子をアリゾナの保留地に残してきた知的なナバホ族の青年カール・ヤージー役は、サンダンス映画祭で観客賞を受賞したネイティブ・アメリカンのロード・ムービー「スモーク・シグナルズ」に主演したアダム・ビーチ。ヤージーのナバホ族の仲間チャーリー・ホワイトホース役は、新人ロジャー・ウィリー。彼の護衛役の海兵隊兵士オックス・アンダーソン役は、ジョン・ウー監督の「ブローケン・アロー」でヒーローを演じたクリスチャン・スレーター。エンダースと恋に落ちる従軍看護婦リタ役は、「A.I.」のフランシス・オコナーが演じている。

ジョン・ウーの最高傑作！ 戦争映画の概念をこえる感動のドラマ

太平洋戦争の秘話をもとに、力強い人間ドラマの脚本を書き上げたのは、「ブローン・アウェイ 復讐の序曲」のジョン・ライスとジョー・バッター。プロデューサーは、ジョン・ウー監督とともにハリウッドに進出し、「アンナと王様」「M:I-2」を手掛けたテレンス・チャン。撮影は「M:I-2」のジェフリー・キンボール。ハワイのオアフ島のプライベート・ビーチでロケし、1400人もエキストラを使って迫力ある5種類もの戦場シーンの特殊効果を担当したのは、「スピード」「パーフェクト・ストーム」などを手掛け、「アルマゲドン」でアカデミー賞候補になったジョン・フレイジャー。彼は「パール・ハーバー」に続いて太平洋戦争を再現した。第二次世界大戦から半世紀以上が経ち、21世紀に入ってもあの戦争を描く作品が数々生まれているが、製作費1億ドルを投じた「ウインドトークーズ」は、これまでの戦争映画の概念を塗り替える、緊迫と感動に満ちた男たちの絆のドラマなのである。

<スタッフ>監督:ジョン・ウー/製作:ジョン・ウー、テレンス・チャン/脚本:ジョン・ライス、ジョー・バッター
撮影:ジェフリー・キンボール、A.S.C./音楽:ジェームズ・ホーナー

<キャスト>ニコラス・ケイジ/アダム・ビーチ/ピーター・ストーメア/フランシス・オコナー/クリスチャン・スレーター

